

町田生きものの共生プランの振り返り

町田生きもの共生プランの概要

■ 将来像（理念）

『源流から里山、街が織りなす いのち輝く町田』

■ 計画期間

本計画の対象期間は2015年から2021年までの7年間となります。

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
						報告対象

■ 基本方針

- 1 意識高揚 『理解する』
- 2 人材育成 『育つ』
- 3 協働・連携 『つながる』
- 4 持続可能な利用 『守る・活用する』

■ 目標（上掲の基本方針ごとに4つの目標を設けています。）

- 1 町田市の生きものや自然に関心をもち、町田市の魅力の一つととらえ、生きものや自然に親しみと愛着を持つ市民・子ども・事業者を増やします。
- 2 生物多様性の維持・向上に関わる知識を持って保全を行う人材を育てます。
- 3 多様な主体の協働・連携により、町田市の生きものやその生育・生息環境を守ります。
- 4 町田市の生きものやその生育・生息環境を守り、生物多様性の恵みを継続的に利用する仕組みを構築します。

※各目標にひもづいて施策が定められ、取り組みを進めています。

■ 重点プロジェクト（上掲4つの目標を横断的に捉えて取り組むプロジェクトです。）

- ① 生物多様性情報拠点（生物多様性センター）機能の構築・充実
- ② 多様な主体の交流の場づくり
- ③ 里山の生物資源利用促進の取り組みの実施
- ④ 市民協働による生きもの調査の実施
- ⑤ ビオトープ作庭イベントの開催

【資料の見方】（ポイント）について

町田生きもの共生プランの振り返り

第3次環境マスタープラン策定のため、「町田生きもの共生プラン」の振り返りは環境審議会の中でも行っていますが、本資料では計画最終年（2021年度）の数値を追加しています。

重点プロジェクト④

市民協働による生きもの調査の実施

多くの方に生きもの調査に参加していただき、市内の生きもの状況を知る機会をつくれます。

2021年度までに実施した主な取り組み

- ・通報アプリ「まちピカ町田くん」を使って、生きもの投稿の受付をしています。2021年度は、年間を通じて、1,496件の投稿がありました。
 - ・投稿写真はホームページで公開するだけでなく、生きものクイズの動画、まちだ生きものアルバム、などに掲載し、町田の生きものとして紹介いたしました。
 - ・市民協働による生きもの調査（セミの鳴き声分布、ツバメの営巣状況、水辺の生きもの調査、スマホを使った生きもの調査）を行いました。
- 市内5ヵ所の公園に設置した「生きもの情報コーナー」を活用して、生きもの探しマップ、生きもの動画チラシなどの情報を発信いたしました。

総括

・重点プロジェクト④については、目標指標を大きく上回ることができました。これは、通報アプリに多くの方が投稿していただいた成果です。引き続き、多くの方から投稿いただけるような取り組みを工夫いたします。市民に身近な生きものに目を向けていただき、市内の生きもの生息状況を把握するため、市民協働の生きもの調査を継続していきます。

ポイント1

2021年度までに実施した主な取り組みを記載しています。

ポイント2

重点プロジェクトの総括を記載しています。

ポイント3

2021年度までに実施した主な取り組みを記載しています。

《定量評価の視点》

指標：市民協働による生きもの調査への参加者数 達成目標：3500人（累計）

年度	基準年（2013・14）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
年度人数	99・132	517	309	265	1,321	1,642	1,708
累計人数	—	803	1,112	1,377	2,698	4,340	6,048

重点プロジェクト①

生物多様性情報拠点（生物多様性センター）機能の構築・充実

町田市の生物多様性の取り組みの検討の場、情報や資料の収集・発信の拠点をつくります。

2021年度までに実施した主な取り組み

- ・市ホームページ内のコンテンツを充実させ、「生物多様性センター」として情報拠点機能として整備して、情報を発信いたしました。
- ・まちピカ町田くん（スマートフォン写真通報アプリ）を使った市民協働の生きもの調査を行い、投稿された生きものの写真を定期的に市ホームページに掲載し、町田市内の生きものの魅力を発信しました。
- ・投稿写真をまとめ「まちだ生きものアルバム」を作成し、市ホームページで閲覧できるようにしました。
- ・投稿写真は、市ホームページで公開するだけでなく、生きものクイズの動画、まちだ生きものアルバム、などに掲載し、町田の生きものとして紹介しました。
- ・市内5カ所の「生きもの情報コーナー」を活用して、生きもの探しマップなどの刊行物を配布するなど生きもの情報を発信しました。

総括

- ・重点プロジェクト①については、目標指標に近づいてきましたが、2020年からの新型コロナウイルス感染症対策などの影響でイベントが中止や縮小になる等の影響もあり、目標指標を達成することができませんでした。引続き、取り組みを継続し、今後は、動画などを活用して、より多くの方に町田市の生きものに関心を持っていただく工夫をしていきます。

《定量評価の視点》

指標：市民アンケート調査結果による生きものに関心のある市民の割合

達成目標：40.0%

年度	基準年（2013）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
割合	31.3%	27.8%	37.4%	37.5%	33.7%	34.4%	27.8%

重点プロジェクト② 多様な主体の交流の場づくり

多様な主体の交流の場である「生物多様性フォーラム」を定期的を開催します。

2021年度までに実施した主な取り組み

- ・町田生きもの共生フォーラムを毎年開催して、参加者の意見交換や町田の生物多様性について、周知することができました。
- ・町田生きもの共生フォーラム開催時は、市内活動団体のパネル、チラシを設置する等により、情報共有を図ることができました。

総括

- ・重点プロジェクト②について、2021年度の町田生きもの共生フォーラムを毎年実施することができました。今後も団体間の交流が進むように、有意義となる意見交換の場とする工夫をして開催していきます。

《定量評価の視点》

指標：多様な主体による交流の場の提供回数

達成目標：6回（累計）

年度	基準年（2013）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
回数	—	1	1	1	1	1	1

重点プロジェクト③

里山の生物資源利用促進の取り組みの推進

手入れがされなくなって植生が単調になった雑木林の手入れを行いやすくするため、伐採木等の利用方法などを考えていきます。また、里山の保全や手入れなどを行っている市民などと協働して行える取り組みを検討し、実施します。

2021年度までに実施した主な取り組み

- ・雑木林や竹林などで入手できる資源を活用した体験型イベントを実施し、楽しみながら里山や生物多様性への理解を深めていただくことができました。
- ・子ども時代に里山活動体験をすることで、将来の里山管理の担い手を育てる取り組みを実施しました。
- ・樹木の伐採更新（萌芽更新）や竹伐採を行い、適正な雑木林になるように管理を行いました。伐採した樹木や竹については土砂流出防止のためのカントリーヘッジとして利用しています。
- ・北部丘陵において、5つの団体や個人と協定を結び、山林等約66,000㎡の活用や保全を図りました。
- ・指定管理者と協力し、雑木林講習会を小野路公園で開催をしました。

総括

- ・重点プロジェクト③については、関係する環境活動団体等と協働し、里山資源の活用や保全を進めていくことができました。今後も引き続き、他部署と情報交換を行いながら、継続的な里山資源の活用ができるようにする取り組みを進め、里山環境の持続可能な保全につなげます。

〈評価の視点〉

指標：里山の生物資源利用促進の取り組みの実施

達成目標：取り組みの推進

年度	基準年（2013）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
内容	—	検討	試験的实施	試験的实施	本格実施	本格実施	本格実施

重点プロジェクト④

市民協働による生きもの調査の実施

多くの方に生きもの調査に参加していただき、市内の生きもの状況を知る機会をつくれます。

2021年度までに実施した主な取り組み

- ・通報アプリ「まちピカ町田くん」を使って、生きもの投稿の受付をしています。2021年度は、年間を通じて、1,496件の投稿がありました。
- ・投稿写真は市ホームページで公開するだけでなく、生きものクイズの動画、まちだ生きものアルバム、などに掲載し、町田の生きものとして紹介いたしました。
- ・市民協働による生きもの調査（セミの鳴き声分布、ツバメの営巣状況、水辺の生きもの調査、スマホを使った生きもの調査）を行いました。
市内5カ所の公園に設置した「生きもの情報コーナー」を活用して、生きもの探しマップ、生きもの動画チラシなどの情報を発信いたしました。

総括

- ・重点プロジェクト④については、目標指標を大きく上回ることができました。これは、通報アプリに多くの方が投稿していただいた成果です。引き続き、多くの方から投稿いただけるような取り組みを工夫いたします。また、市民に身近な生きものに目を向けていただき、市内の生きもの生息状況を把握するため、市民協働の生きもの調査を継続していきます。

《定量評価の視点》

指標：市民協働による生きもの調査への参加者数

達成目標：3500人（累計）

年度	基準年（2013・14）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
年度人数	99・132	517	309	265	1,321	1,642	1,708
累計人数	—	803	1,112	1,377	2,698	4,340	6,048

重点プロジェクト⑤ ビオトープ作庭イベントの開催

まちぐるみでビオトープを作庭し、イベントを開催します。

2021年度までに実施した主な取り組み

- ・親子向け家庭でできるビオトープづくりの普及啓発資料を作成し配布いたしました。
- ・エコフェスタでのビオトープ関連イベントの実施いたしました。
- ・小学校でのビオトープ出前事業を実施し、児童が学校のビオトープや周辺の環境や生物相について理解を深めました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策で児童と接触ができない小学校については、校庭やビオトープからオンラインで配信するなど、工夫をしながらイベントを実施しました。
- ・アプリを使った市民協働の生きもの調査のキャンペーンは、生きものだけでなく、その生息環境（ビオトープ）にも目を向けていただくテーマで実施しました。

総括

重点プロジェクト⑤については、目標指数を新型コロナウイルス感染症対策などの影響もあり、ビオトープ関連事業を実施できず、目標を達成することができませんでした。今後は、オンライン配信を活用するなど、工夫をしながら事業を実施します。また、学校ビオトープを利用した出前授業だけでなく、市民向けのイベント型のビオトープ関連事業の実施を検討し、ビオトープについての普及啓発を行います。

《定量評価の視点》

指標：イベント参加主体数

達成目標：50

年度	基準年（2013）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
参加主体数		—	—	9	12	6	8
累計	—	—	—	9	21	27	35